




平成25年度 補助事業等実績報告書

平成26年4月10日

函館市長 工藤 寿樹 様

補助事業者 函館市桔梗町379番地
公益財団法人函館地域産業振興財団
理事長 松本 榮一 

補助事業等の名称 函館マリンバイオクラスター形成事業

平成25年4月1日付け函経経をもって補助金等の交付決定を受けた上記の補助事業等は、平成26年3月31日完了したので、関係書類を添えて報告します。

記

補助金等交付決定通知額	金	8,850,000円
補助金等領収済額	金	8,850,000円
補助金等領収未済額	金	0円

補助事業等の実績書

<p>申請者の概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・所在地：函館市桔梗町379番地（電話34-2600） ・名称，代表者名：公益財団法人函館地域産業振興財団 理事長 松本 榮一 ・設立年月日：昭和59年4月3日 ・営む主な事業：高度技術の研究開発、企業が行う研究開発に対する助成，企業の技術力向上の推進及び人材の育成等
<p>補助事業等の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・科学技術コーディネータ2名，科学技術コーディネータ補佐2名，事務局員補助2名を雇用し，研究者・企業間のコーディネートを積極的に行うとともに各種セミナー等への参加を通じて情報収集し，研究成果の事業化を円滑に進めた。 ・成果品の海外への販路拡大に向け，シンガポールにおいて Oishii Japan に出展した他，マリンバイオ分野の国内外の研究者間の情報交換や研究成果の普及などを通じ，グローバルスタンダードとなり得るコア技術の創出を目指す，グローバル化支援事業を行った。 ・函館マリンバイオクラスター形成の取組や研究成果を広く内外にPRするための広報事業を実施した。 ・効率的な研究開発と事業化のための外部評価委員会を開催したほか，事業を円滑に推進するための事業推進委員会等の会議を開催した。 <p>※実施事業の詳細は別紙のとおり。</p>
<p>補助事業等の実施による効果</p>	<p>当該事業の実施により、函館地域・北海道内外へ本事業の取組みを広く周知することができ、参画企業は新たに8社増え120社となった。また、今年度新たに70件を超える商品化がなされ、これまでの函館マリンバイオクラスター関連商品の累積売り上げが約100億円となった。</p> <p>(1) 事業および成果品の周知</p> <p>函館地域、道内外と東アジアそれぞれ周知活動を実施した。函館地域では、本事業を地域企業により浸透させることを視野に、フォーラム形式で取組内容を周知したほか、道内では、札幌、帯広で北海道バイオクラスタートライアングルとして「さっぽろヘルスイノベーション「Smart-H」」「とかちABCクラスター」と共同で出展、道外では、シーフードショー（東京）、食品開発展（東京）、健康博覧会（東京）等に、海外では北海道経済産業局と連携してシンガポールの「oishii Japan」に出展するとともに日本の海藻の食文化や機能性についてのセミナーを実施し、それぞれ事業概要パンフレット、成果品パンフレットやレシピ集を制作配布して、事業内容等の認知度アップや成果品の普及に努めた。そのほか、ホームページの改修を行い、事業化戦略や商品化情報等、積極的</p>

	<p>な情報発信に努めた。</p> <p>(2) 事業化・知財</p> <p>産学官連携のコーディネート活動の結果、函館産アカモクから抽出したフコキサンチン含有素材の商品としてメタボ対策に効果が期待できる「フコキサンチン1000」を商品化し函館の参画企業から販売開始した他、70を超える商品化が実現し、これまでの函館マリンバイオクラスター関連商品の累積売り上げが約100億円となった。</p> <p>知財関係では、コンブの産地判別方法や海藻の加工利用方法に関して新たな特許を出願し、新商品の製品化に向けた取り組みが始まっている。また、「春採りコンブ」を商標登録し、コンブは乾燥品という常識を破りサラダ感覚で食べられる新たな商品の販売を支援して、国内のみならず台湾への販路拡大にも結び付けた。</p> <p>(3) 連携体制の構築</p> <p>函館地域では、函館がごめ連合と連携して道内外の出展展示を行い、成果品のPRおよび販路拡大を図った。道内3地域（十勝・札幌・函館）連携においては、「ほっかいどうバイオクラスター・トライアングル」相互連携を促進しており、それぞれの成果発表会では、各3地域の事業内容および研究成果の情報交流や事業成果の発表として、パネル展示を実施し連携を深めた。海外では、フランスのアキメールクラスターとの交流を行い、今後も継続して情報交換を行うこととした他、これまでに連携協定を締結している中国の大連海洋大学、台湾の国立台湾海洋大学、韓国の江陵原州国立大学に加えて、新たに韓国の湖南地域との連携を見据えて全南生物産業振興院を訪問して交流した。その結果として、韓国湖南地域と函館地域の企業間でのビジネスマッチングの動きに発展している。</p> <p>(4) 事業推進体制</p> <p>効率的な研究開発と事業化推進のために、外部評価委員会を開催し、知財、マーケティング、研究、事業化などの外部専門家による大局的な観点からの評価を行い、事業運営に反映させた。また、クラスター本部会議及び事業推進委員会を開催し、事業を円滑に推進するために、事業計画への助言や成果の確認、関連組織間の調整を実施した。</p>
備 考	

実施事業の詳細

1. セミナー・フォーラム等の開催

- ①函館マリンバイオフィォーラム&フェスタ2013
平成25年7月18日(木) 函館国際ホテル (参加者207名)
- ②第2回水産物ブランド化セミナー
平成25年9月13日(金) 北海道立工業技術センター (参加者36名)
- ③Hokkaido Hakodate Seaweeds Seminar
平成25年10月17日(木) サンテックシンガポール (参加者34名)
- ④函館マリンバイオフィォーラム&フェスタ ファイナル
平成26年3月4日(火) ロワジールホテル函館 (参加者172名)

2. 各種展示会への出展

- ①はこだてスイーツフェア2013
平成25年4月27日(土)～6日(日) 函館FMいるかビル
- ②とからABCフォーラム2013
平成25年5月30日(木) ホテル日航ノースランド帯広
- ③2013サイエンスパーク
平成25年8月7日(水) 札幌駅前通地下歩行空間
- ④第15回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー
平成25年8月21日(水)～23日(金) 東京ビッグサイト
- ⑤食品開発展2013
平成25年10月9日(水)～11日(金) 東京ビッグサイト
- ⑥Oishii JAPAN
平成25年10月17日(木)～19日(土) サンテック・シンガポール国際会議場
- ⑦第27回ビジネス EXPO
平成25年11月7日(木)～8日(金) アクセスサッポロ
- ⑧地域イノベーション シンポジウム2013
平成26年2月12日(水)～13日(木) ポートメッセ なごや
- ⑨とからABCフォーラム2014
平成26年2月27日(木) ホテル日航ノースランド帯広
- ⑩さっぽろヘルスイノベーション 'Smart-H' 成果報告会
平成26年3月7日(金) ホテルモントレ札幌
- ⑪健康博覧会2014
平成26年3月12日(水)～14日(金) 東京ビッグサイト

3. セミナーへの参加

- ①第3回「食と健康」研究会 平成25年5月10日(金) 北大創成科学研究棟
- ②とからABCフォーラム2013 平成25年5月30日(木) ホテル日航ノースランド帯広
- ③イノベーションネットアワード2013記念フォーラム平成25年6月21日(金)
TEPIA
- ④平成25年度秋田県総合食品研究センター試験研究成果発表会平成25年6月26日
(水) 秋田県総合食品研究センター

- ⑤第4回「食と健康」研究会 平成25年7月3日(水) 北大創成科学研究棟
- ⑥第5回「食と健康」研究会 平成25年9月17日(火) 北大創成科学研究棟
- ⑦シンポジウム「食の新しい価値づくりで日本を元気に」平成25年9月18日(水) 日経ホール
- ⑧「日台機能性食品の研究と産業の開発」シンポジウム平成25年10月8日(水) 京王プラザホテル札幌
- ⑨農業生物資源研究所創立30周年記念シンポジウム平成25年10月16日(水) 秋葉原UDX
- ⑩プロテオグリカン関連事業説明会&BRAND FORUM IN AOMORI 平成25年11月1日(金) 弘前ニューキャスルホテル
- ⑪「やまぐちグリーン部材クラスター」研究成果発表会 in Tokyo 平成25年11月8日(金) 天王洲アイル
- ⑫全道産学官ネットワーク推進協議会平成25年11月18日(月) ホテル札幌ガーデンパレス
- ⑬香港・健康食品ビジネスセミナー平成25年11月28日(木) 京王プラザホテル札幌
- ⑭地域セミナーin北海道 健康科学産業クラスターの形成に向けて平成26年1月29日(水) 札幌共済サロン
- ⑮地域イノベーションシンポジウム2013平成26年2月12日(水) ポートメッセなごや
- ⑯とちかABCフォーラム2014平成26年2月27日(木) ホテル日航ノースランド帯広
- ⑰さっぽろヘルスイノベーション「Smart-H」成果報告会平成26年3月7日(金) ホテルモントレ札幌
- ⑱COIキックオフシンポジウム平成26年2月24日(月) 日本未来科学館

4. 広報ツールの作成

- ①函館マリンバイオクラスター事業紹介パンフレット
- ②函館マリンバイオクラスター事業紹介パンフレット英語版
- ③HAKODATE GAGOME 紹介英文リーフレット
- ④函館マリンバイオフィォーラム2013発表資料集
- ⑤函館マリンバイオフィォーラムファイナル発表資料集
- ⑥フコキサンチン紹介リーフレット
- ⑦春採りコンプフライヤー
- ⑧がごめ昆布レシピ集

5. 各種委員会の開催

- ①第1回外部評価委員会 平成25年7月19日(金) ロワジールホテル函館
- ②第1回事業推進委員会 平成25年9月2日(月) ロワジールホテル函館
- ③第1回クラスター本部会議 平成25年9月2日(月) ロワジールホテル函館
- ④第2回外部評価委員会 平成26年3月25日(金) ロワジールホテル函館
- ⑤第2回事業推進委員会 平成26年3月25日(金) ロワジールホテル函館
- ⑥第2回クラスター本部会議 平成26年3月25日(金) ロワジールホテル函館

補助事業等の収支決算書

収入の部

(単位：円)

項目	本年度 予算額	本年度 決算額	増減	内 訳
国補助金	17,700,000	17,700,000	0	
北海道補助金	8,850,000	8,850,000	0	
函館市補助金	8,850,000	8,850,000	0	
合 計	35,400,000	35,400,000	0	

支出の部

(単位：円)

項目	本年度 予算額	本年度 決算額	増減	内 訳
科学技術コーディネータ等 人件費	22,417,000	22,045,472	-371,528	※別紙内訳参照
科学技術コーディネータ等 活動費	2,696,000	2,861,075	165,075	
グローバル化支援事業 関係経費	5,370,000	5,470,233	100,233	
広報事業費	2,704,000	3,438,497	734,497	
外部評価委員会等会議 開催費	2,213,000	1,584,723	-628,277	
合 計	35,400,000	35,400,000	0	

収支差引額 0円

補助事業の収支決算の内訳

(単位：円)

項 目	決 算 額	内 訳	補助対象経費	備 考
科学技術コネクティネータ 等人件費	22,045,472 (11,636,686) (6,775,549) (3,633,237)	・科学技術コネクティネータ ・科学技術コネクティネータ補佐 ・事務局員補助	22,045,472	
科学技術コネクティネータ 等活動費	2,861,075 (1,682,460) (113,582) (541,800) (369,967) (153,266)	・国内旅費 ・消耗品費 ・借損料 ・雑役務費 ・運営費	2,861,075	
グローバル化支援事業 関係経費	5,470,233 (940,660) (64,179) (767,533) (100,000) (1,535,088) (421,536) (1,641,237)	・国内旅費 ・消耗品費 ・外国旅費 ・諸謝金 ・借損料 ・雑役務費 ・運営費	5,470,233	
広報事業費	3,438,497 (797,880) (181,482) (1,395,064) (240,660) (823,411)	・国内旅費 ・消耗品費 ・借損料 ・雑役務費 ・運営費	3,438,497	
外部評価委員会等 会議開催費	1,584,723 (636,460) (546,000) (402,263)	・国内旅費 ・諸謝金 ・借損料	1,584,723	
合 計	35,400,000		35,400,000	

(内訳は、文科省の事業費種別区分による。)